

## 「石の下の毒ムカデ」

ダンゴムシはみんな好きですが、ムカデを好む子はほとんどいません。ヒトは、あの姿、動き、色などに、本能的・・・というか遺伝子的に恐怖や嫌悪感をいただくようにできているようです。大学構内にもムカデはいます。毒を持ったムカデもいるので、観察には注意が必要です。

子どもは虫を探す時に、カニクイザルのように石をひっくり返す行動をします。そんな時に、金切り声が聞こえたら、大抵はアオズムカデの出現です。アオズムカデ(青頭百足)は、本州にいるムカデとしてはかなり大型で、相当にすばらしい(気持ち悪い)姿をしています。めったなことでは咬みませんが、素手でちょっかいを出すと、咬まれて毒を注入されます。直後に激痛があり、かなり腫れるそうです(ムカデ咬症)。ダンゴムシやミミズを探す活動をする時は、事前にアオズムカデを触らないように、安全指導を徹底しましょう。



「アオズムカデ」 *Scolopendra subspinipes*

石をひっくりかえすと(ひっくり返すと)、びっくりしたように動き回ります。暗いすき間を求めて逃げ回るので、見るからにおそろしい姿で、アノマロカリスよりも怖いです。子どもたちがつけたあだ名(キャラクター名)は「アオズン」。強い毒があるので、さわっちゃダメです。どっちも頭に見えますが、触角のある下が頭です。